PRESS RELEASE

報道関係者各位

2023 年 9 月 19 日
株式会社スマサポ

# 長野県大町市にて導入開始！！不動産内覧時の鍵の受け渡しの手間を軽減し、物件の価値向上・業務効率化を実現する「スマサポ内覧サービス SKB」

～長野県大町市が管理する無人施設への導入を転機に、全国の市区町村への導入提案を強化～

不動産賃貸マーケットに対してテクノロジーを活用したサービスを提供する株式会社スマサポ（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：小田 慎三、証券コード：9342、以下 スマサポ）は、大町市（市長：牛越 徹）に、スマサポ内覧サービス SKB を導入し、運用を開始致しました。



〈ご担当者様からのコメント〉

◆導入の背景
当市の公共スポーツ施設の中には、職員が常駐していない無人施設が多くあります。それらの鍵は、職員が常駐する総合体育館窓口において貸出を行うほか、鍵管理員を選定し、管理料を支払って鍵の受渡し窓口を担っていただいておりました。しかしながら昨今、高齢化等で鍵管理業務を請け負えないなどの事例が増え、鍵管理員による管理を代替できる方法を模索していたところでした。

◆スマサポをお選びいただいた理由
スマサポの SKB は、鍵の受渡しのみをキーボックスでスマート化し、各施設の鍵（シリンダー等）は交換することなく既存の鍵をそのまま使用できることが選定させていただいた最も大きな理由です。さらに、キーボックス側が持つ通信手段をユーザーが持つスマートフォンとの bluetooth 通信のみとしているため、ボックスを Wi-Fi 下に置いたり、ボックスごとにキャリア通信契約をする必要はなく、通信にかかるランニングコストを抑えることができている点に魅力を感じました。また、大きな出力を伴う通信を行わない設計のため電池の持ちがよく、別途電源を確保したり、頻繁に電池交換をする必要がないことも数多くの公共施設での同時運用に耐えうると判断した理由です。

◆今後、「スマサポ内覧サービス SKB」に期待すること
現在、機能と安定性は申し分ないと感じているので、今後もこのサービスを同等の費用感で提供していただければ、公共施設の鍵管理（行政分野における DX 推進）に重要な役割を果たしてくれるものと期待しています。

■「スマサポ内覧サービス SKB」について
Iot 鍵ツール「スマサポ内覧サービス（SKB）」は、不動産管理会社が賃貸マンション等の部屋の扉に取り付けることにより、物件内覧時の鍵の貸し借りといった手間を省略し、スムーズな物件内覧を提供するツールです。
ボックス型のデバイスはエントランスドア部分に磁石を利用し取付け、専用の「スマサポキーアプリ」をインストールしたスマートフォンを利用することでボックスが開錠し、中から物理鍵が取り出せるという仕組みとなっています。集合住宅のエントランスオートロックにはスマサポキーボックスと連携するエントランス用モジュールを取り付けることで開錠に対応します。これらのデバイスを活用したスムーズな内覧と内覧履歴データの活用をお届けするサービスを総称「スマサポ内覧サービス SKB」とし、展開しております。




## 株式会社スマサポについて

スマサポは「smart なくらしを support する」をテーマに、不動産資産価値の向上や入居者メリットの拡大、業務効率化といったテーマに対し、既存商品・サービスを更に深堀する新しいビジネスモデルの構築や、ＩＴを活用した新しいサービスを生み出し、不動産管理会社や不動産仲介業者を通じてより多くの入居者に新しい価値を届けます。

名称：株式会社スマサポ
本社所在地：東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 1F
代表者：代表取締役 CEO　小田慎三
設立年月：2012 年 4 月
資本金：213,707,822 円
ウェブサイト：https://www.sumasapo.co.jp/
事業内容：不動産管理業界に向けた複数ソリューション提供と入居者アプリ「totono」を活用したＤＸ推進事業

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】
株式会社スマサポ　（広報担当：岩岡・山﨑）
TEL：050-1741-1119　MAIL：pr@sumasapo.co.jp